

児童労働について

今日、世界で**6人に1人**の子どもが、心と身体、感情の発達に悪影響を及ぼす児童労働にたずさわっています。

子どもたちは、世界各地のいろいろな産業で働かされています。有害な農薬にさらされ、危険な機械を使って農作業する大勢の子どもたち。道で物売りをしたり、使い走りをして日銭を稼ぐストリートチルドレン。家事使用人、買春される子ども、工場で働く子どもたち。皆、本当の子ども時代を奪われ、教育を受けてより良い生活を送るチャンスに恵まれない子どもたちです。

子どもたちは、自分たちが生き延びるため、そして、家族を支えるために働いています。児童労働は、それが不法とされる国々にもはびこり、しばしば沈黙と無関心の壁に囲われています。

しかし、この壁は崩れ始めています。児童労働を完全になくすことは、多くの国にとって長期的な目標ですが、最悪の形態の児童労働には、ただちに取り組まなければなりません。働かされる子どもたちの**4分の3 (1億8000万人)**は、トラフィッキング(人身売買)、武力紛争、奴隷、性搾取、危険有害作業など、最悪の児童労働に就かされています。児童労働を実質的になくすことは、私たちの時代の最も緊急の課題の一つです。

統計

世界中で**2億4600万人**の子どもたちが働かされています。

このうち**7300万人**は**10歳未満**です。

児童労働に無関係な国はありません。先進諸国でも、市場経済移行諸国(例えば旧ソ連邦諸国)でも、両方とも**250万人**の子どもたちが働いています。

毎年、**2万2000人**の子どもたちが、工作中的の事故で死んでいます。

14歳以下の働く子どもたちのうち、**1億2700万人**は、**アジア太平洋地域**にいます。

働く子どもの割合が一番高い**サハラ以南アフリカ**では、**14歳以下**の子どもの**3分の1**にあたる**4800万人**が働いています。

子どもたちのほとんどは、法律や規制による保護を受けられない**インフォーマル経済**で働いています。

- 70%が農業、商業的狩猟、漁業、林業

- 8%が製造業

- 8%が卸売業、小売業、レストラン、ホテル

- 7%が家事サービス労働などの対個人・地域・社会サービス

840万人の子どもたちは、奴隷、トラフィッキング(人身売買)、債務労働、買春・ポルノなどの不法活動に陥られています。

児童労働の現状

表1 経済活動・児童労働・最悪の形態の児童労働に従事している子どもの数・割合(2000年、年齢別)

	5-14才		15-17才		計	
	数(単位: 100万人)	当年齢グループに おける割合	数	当年齢グループに おける割合	数	当年齢グループに おける割合
経済活動に従事している子ども	210.8	18	140.9	12	351.7	23
児童労働に従事している子ども	186.3	16	59.2	18	245.5	16
最悪の形態の児童労働に 従事している子ども					178.9	11.5
危険な労働に従事する子ども	111.3	9	59.2	18	170.5	11
無条件に最悪の形態とされる 児童労働に従事する子ども					8.4	0.5
は不明						
Source: ILO estimates for 2000 and <i>World Population Prospects: The 2000 Revision. Vol. 2. The sex and age distribution of the world population</i> (New York, United Nations, 2001)						

表2 無条件に最悪の形態とされる児童労働に従事している子どもの数(推計)

最悪の形態の児童労働の種類	子どもの数(単位:100万人)
強制労働・債務労働	5.7
武力紛争のための強制的な徴収	0.3
買春・ポルノの対象	1.8
その他の不正な活動	0.6
人身売買 ¹	(1.2)
計	8.4
¹ 子どもたちは多くの場合、他の最悪の形態の児童労働に売られていく。そのため、重複を避けるため、人身売買される子どもの数は、合計の子どもの数の計算に含まれていない。 Source: ILO estimates for 2000 based on various secondary sources.	

(参考)

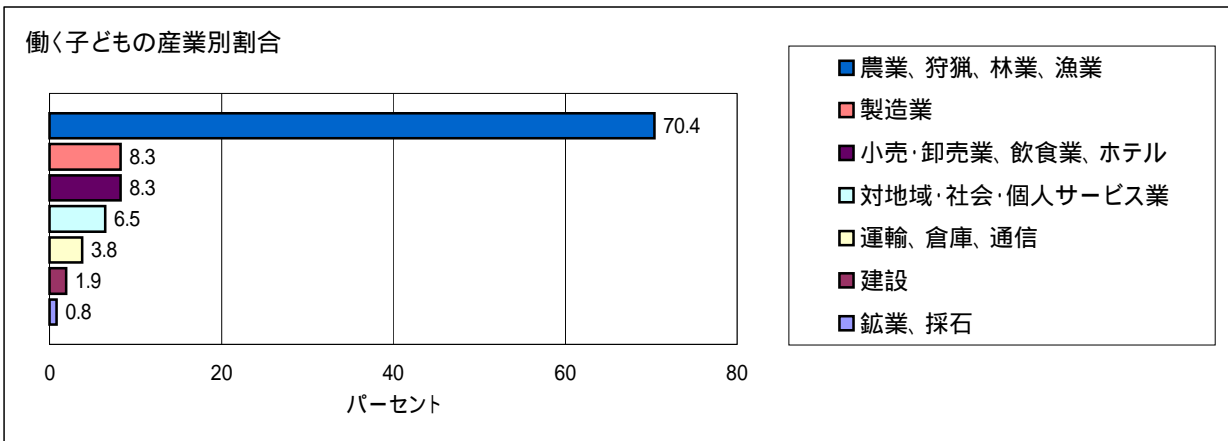
表3 経済活動に従事している子ども(5～14才)の数・割合(推計、2000年) 1

地域	経済活動に従事している子どもの数(単位:100万人)	世界全体に占める各地域の割合	全児童数における経済活動に従事している子どもの割合(%) ¹
先進国(工業国)	2.5	1	2
移行経済国	2.4	1	4
アジア・太平洋	127.3	60	19
中南米・カリブ海諸国	17.4	8	16
サハラ以南のアフリカ	48	23	29
中東・北アフリカ	13.4	6	15
計	211		16

¹ これらの推計は計算に使われるデータのセット数が少ないことから、世界全体の推計よりも誤差が大きくなりがちであり、割合の合計が100にならない。グループ分けはILOの労使市場主要指標の分類に準ずる。2000年に世界の5～14才の子どもの数は12億人で、このうちアジア・太平洋が28%、サハラ以南のアフリカが7.4%を占める。

Source: ILO Bureau of Statistics: Data for 2000 based on 29 national household surveys; ILO; The ILO economically active population estimates and projections(LABPROJ), see www.ilo.org./public/english/bureau/stat/info/dbases.htm; and United Nations Population Division: *World Population Prospects: The 2000 Revision. Vol. 2. The sex and age distribution of the world population* (New York, United Nations, 2001)

表4 働く子どもの産業別割合



インフォーマルセクターで働く子どもたちの例

- ・ストリートチルドレン(露天商、磨き、フロトガラス拭き、タイヤ修理、ゴミ拾い、物乞い、荷物運びなど)
- ・零細作業場での仕事(大工、車両修理、食品加工など)
- ・家内労働